



公益社団法人京都モデルフォレスト協会

平成 26 年度事業報告

平成 26 年度は以下の 3 点を重点的に実施しました。

- 1 モデルフォレスト運動のセカンドステージ 3 年目の取組として、府民参加型のモデルフォレスト運動の更なる推進
- 2 全国育樹祭の京都府での開催機運を高めるため、モデルフォレスト運動を広く PR し、府民の森林愛護機運を醸成
- 3 関係団体や協会会員の協力を得て、緑の募金や森林づくりへの寄付金等を拡大する取組を強化し、森林整備、地域緑化、環境教育、森林ボランティア活動等への支援を充実

1. 府民参加型の京都モデルフォレスト運動の展開

林野庁森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用した住民による森づくりの支援

地域住民等の力で里山林の保全管理や資源利用、森林環境学習を実施することにより、水源の涵養、山地災害の防止等、森林の有する多面的機能の発揮を目的とする林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策」交付金制度が創設され、当協会が京都府の取扱団体（地域協議会）となり、府内各地の住民団体や森林ボランティア団体等に対し交付金を交付し、活動を支援する事業を平成 25 年度から開始。林野庁の交付金制度については、当初の 3 ケ年から、平成 28 年度まで延長が予定されており、協会でも継続した支援を行っています。

平成 26 年度は新たに設立された住民団体や森林ボランティア団体等が里山林保全、竹林整備、森林資源利用、森林環境学習等の各タイプの活動に取組み、この活動により 289ha の地域の里山林保全・竹林整備・森林資源利用活動が行われ、また、約 4,500 人の府民が森林の自然観察等の環境学習や林業体験に参加しました。



研修・交流会の開催

森林・山村多面的機能発揮対策事業に取り組む活動組織に対し、森林整備活動に必要な安全面についての研修を、12 月 13 日（京都市）、20 日（舞鶴市）にて実施。併せて事業実施にあたっての留意点について説明し、参加者間での意見交換等により、活動団体の支援を行いました。



森林ボランティア活動の推進

モデルフォレストリーダーの認定

1月26日の森林・林業・木材産業京都会議「モデルフォレスト運動推進大会」において、森林保全活動を支えリーダーとなる人材を育成するために府立林業大学校で実施された「森林保全研修」を受講・修了された15名に、協会としてモデルフォレストリーダーの認定書を授与しました。



ボランティアによる伝統文化の森林づくり活動の実施 (11月30日)

11月30日、三井物産株式会社の社有林（京都市右京区梅ヶ畑）で「伝統文化の森づくり体験」として森林整備体験を実施しました。参加者を公募し、近畿一円から、企業や森づくり団体、学生など12名が参加。鞍馬火祭保存会の三宅会長、石田副会長を迎え、鞍馬の火祭や大文字五山の送り火で使われるコバノミツバツツジやアカマツ等を育成するための森林整備を行いました。



天王山森林ボランティア養成講座の実施 (1月～3月)

大山崎町からの委託を受け、平成27年1月25日～3月15日にかけて計5回、森林ボランティアとして活動するための心構えから森林の機能、安全対策、人工林の間伐体験や竹林整備の実践



等について学ぶ講座を、京都森林インストラクター会の協力を得て開催。他府県からの参加者を含む幅広い年齢層の15名の受講生が参加しました。講座後は地元のボランティア団体との交流会を行いました。

大学等との連携

竹の環プロジェクト (5月10日、10月18日)

平成19年度からの取組で、毎年春・秋の2回にわたり京大桂キャンパス内において竹林の整備やタケノコ掘り等を実施。今年度は5月10日、10月18日に竹林保全ボランティア活動「竹の環プロジェクト」を開催。主催の京都大学・住友生命保険相互会社・京都府・当協会のメンバーとともに一般参加者を含めた多数の皆さんが参加しました。





『京の七夕』放置竹林整備活動（6月28日）

放置竹林問題への対策及び普及啓発の一環として、6月28日、企業や学生のボランティア、京の七夕実行委員会事務局のメンバーら約 50 人が、京都大学桂キャンパス内の放置竹林で約 30 本の竹の伐採と搬出を行いました。伐採された竹は、8月に開催されたライトアップイベント『京の七夕』堀川会場の巨大アーチ「光の天の川」等に利用されました。

2. 国内外の多様なパートナーシップによるモデルフォレスト運動の推進

第3回「森林・林業・木材産業京都会議」モデルフォレスト運動推進大会の開催

平成 27 年 1 月 26 日、森林、林業、木材、住宅建築、森林保全に取り組む企業や団体などの関係者が一堂に会する第3回「森林・林業・木材産業京都会議」を、ルビノ京都堀川（京都市上京区）において開催。府内全域から約 400 名のご参加をいただきました。



全体会議として京都モデルフォレスト運動表彰の知事賞の授与、続いて岡山県西粟倉村の青木秀樹村長による「百年の森林づくりから始まる地域づくり」と題した講演のあと、午後からは「モデルフォレスト運動推進大会」を開催。表彰状や感謝状の贈呈のほか、カナダのサスカチュワン大学のモウリーン・G・リード教授から「モデルフォレスト・ネットワークとプリン

スアルパートモデルフォレストにおける取組」と題し、モデルフォレスト発祥の地カナダにおける森林を守り育てる取組についての講演をいただきました。

パネルディスカッションでは、森林ボランティアフォロスターうじ、㈱マツシマホールディングス、京都府立大学森林ボランティアサークル森なかま、まいづる竹林整備・竹活用ネットワーク協議会、エスペック㈱などの担当者の方々に日頃の活動内容や課題、今後の展望等の報告を受けた後、京都府立大学副学長の田中和博教授をコーディネーターにパネルディスカッションを行いました。



モデルフォレスト・パートナーズ協定締結 北海道下川町記念講演会の開催

5月23日、京都ガーデンパレス（京都市上京区）において、当協会とモデルフォレスト・パートナーズ協定を締結している北海道下川郡下川町の春日環境未来都市推進本部長をお招きし、「森林を造り、未来を創る ～下川町における木質バイオマスの取組とこれからの展望～」と題して平成 26 年定時総会記念講演会を開催。

豊富な森林資源を活用し、木質バイオマスによるエネルギーの地産地消に取り組むなど、持続的な森林経営と産業の活性化を進める取組についてお話いただきました。





国際的な取り組みの推進

2014 モデルフォレスト DAY 国際シンポジウム（11月4日）

モデルフォレスト DAY 期間中、京都市内において「2014 モデルフォレスト DAY 国際シンポジウム」を開催。モデルフォレスト発祥の地であるカナダからお迎えしたケベック州ラバル大学教授ナンシー・ジェリナ氏、国際モデルフォレストネットワーク事務総長ピーター・ベッソー氏による基調講演のほか、「京都モデルフォレスト運動のこれからの展開」と題したパネルディスカッションを行い、約 150 名の方にご来場いただきました。



「地域主体の森林資源管理に関する国際シンポジウム—カナダと日本における文化、学習、適応の視点—」（3月3～5日）

平成 27 年 3 月 3 日～5 日、大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所「地域環境知プロジェクト」、サスカチュワン大学（カナダ）との共催により、国内外の研究者を対象とし、森林の管理を核とし、カナダと日本の双方が学び合うことを目的としてシンポジウムを開催。

モデルフォレスト運動発祥の地であるカナダ・プリンスアルバートモデルフォレストのマーク・ジョンストン理事長や、当協会理事の田中和博京都府立大学副学長がそれぞれ事例発表を行い、国内外の研究者に向け日本・カナダのモデルフォレスト活動の取組を PR しました。フィールドトリップでは、西山森林整備推進協議会（長岡京市）等の協力により、企業や住民ボランティアなど多様な主体による森林整備や、伝統文化の森林づくりに関する現場を視察しました。





3. 全国育樹祭に向けた活動の展開

当協会の設立 10 周年の節目である平成 28 年に京都府での開催機運を高めるため、次世代への豊かな緑の継承を目指す活動や、多様な主体の参画による森林づくりを進めるモデルフォレスト運動の展開などを積極的に行いました。

第 2 回「京都緑のこどもサミット」の開催（7 月 30 日～31 日）

子どもたちの森林への理解や自然を大切にする心を育むため、京都府と共に「京都緑のこどもサミット」を京都府立り溪少年自然の家において開催。約 150 名にご参加いただきました。緑の少年団による活動発表、野外での飯ごう炊飯や自然観察などを通じ、交流を深めました。

また、サミットへは当協会が「モデルフォレスト・パートナーズ協定」を締結した、北海道下川町の子どもたちを招待。地域を超え、京都の子どもたちとともに、森と緑の大切さを確認する機会となりました。



府内一斉森づくり期間「モデルフォレスト DAY」の展開

モデルフォレスト運動をさらに盛り上げるため、府内一斉森づくり期間「モデルフォレスト DAY」（10 月～11 月）における森林づくり活動を府内各地に呼びかけ、期間中、府全域で約 4,000 名の参加がありました。

キックオフイベント（9 月 27 日）

亀岡市の村田製作所「ムラタの森」で、社員やご家族、地元の皆さんや緑の少年団の皆さんなど約 150 名が参加し、キックオフイベントを実施。これを皮切りに、続々とイベントが開催されました。



Club J-WEST の森 森づくりイベント（5 月 24 日、10 月 18 日）

平成 26 年 5 月 24 日（土）及び 10 月 18 日（土）に、南丹市スチールの森京都（府民の森ひよし）において、森林づくり活動（広葉樹間伐体験）、ツリークライミング、自然観察、木工体験、薪割体験などを実施。森林づくり活動では、林内でソヨゴなどの広葉樹を抜き切りし、残った木の生長を促して、CO₂ 削減を図りました。また、イベントに先立ち年間 2.1 トン余りの CO₂ 吸収量に換算される約 0.3ha の森林整備（間伐）を実施。間伐材を使ったベンチも作成。各約 200 名の来場者に森林づくりの大切さを体感いただきました。



2014 モデルフォレスト DAY 国際シンポジウム（11 月 4 日）

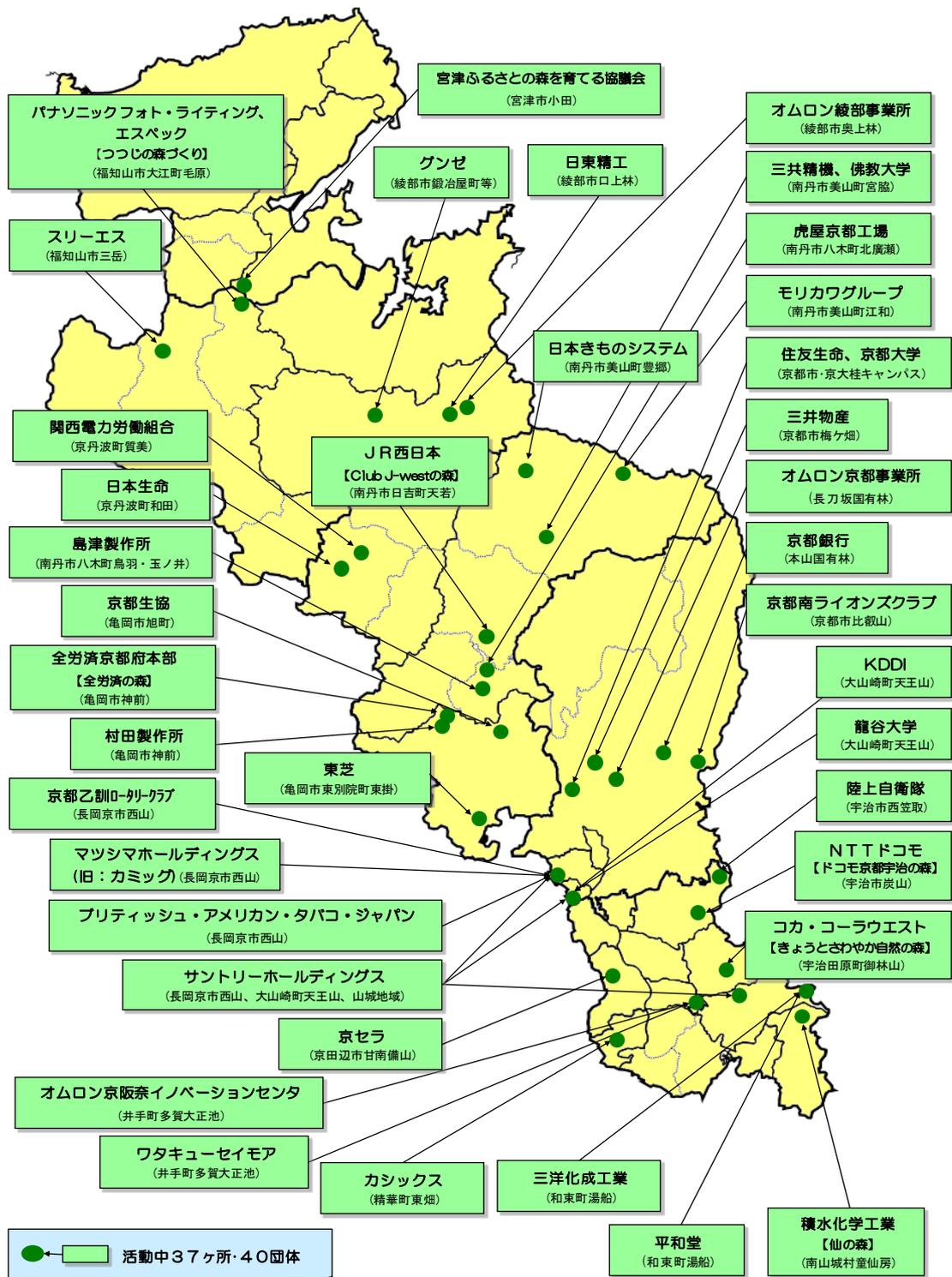
再掲（p.6）



4. 企業・団体等の参加による森林づくり活動の推進

企業等の参加促進

平成 26 年度は株式会社スリーエス、日本きものシステム協同組合が新たに森林づくりに参加され、府内での企業等の参加による森づくり活動は 37 ヶ所、40 団体となりました。また、コカ・コーラウエスト株式会社が、同社の水源涵養のための森林づくり活動を充実させ、協定地を拡大しました。





地域住民等と連携した協議会等

- 丹後モデルフォレスト地域協議会
- 毛原地域森林利用保全活動協議会
- 美山産官学公連携協議会（モデルフォレスト推進プロジェクト）
- 西山森林整備推進協議会
- 山城モデルフォレスト推進協議会

9箇所

- 宮津ふるさとの森を育てる協議会
- 神前モデルフォレスト推進協議会
- 天王山周辺森林整備推進協議会
- 井手町豊かな緑と清流を守る協議会

企業・団体等による森林づくり活動の概要

活動の主な目的

活動の主な目的	企業等数	企業等名
環境保全 温暖化防止への貢献	21	東芝、NTTドコモ、積水化学工業、エスペック、パナソニックフォト・ライティング、KDDI、ニッセイ、住友生命、京都大学、島津製作所、オムロン、BATジャパン、マツシマホールディングス、モリカワグループ、京都生協、JR西日本、宮津ふるさとの森を育てる協議会、カシックス、関西電力労働組合京都地区本部、京セラ、スリーエス
社会・地域貢献	15	村田製作所、三共精機、佛教大学、全労済、平和堂、京都乙訓ロータリー、ワタキューセイモア、三洋化成工業、グンゼ、虎屋、陸上自衛隊、日東精工、龍谷大学、京都銀行、日本きものシステム協同組合
水源林の保全	3	サントリー、コカ・コーラウエスト、京都南ライオンズ
伝統行事への貢献	1	三井物産

活動の形態

社員等のボランティア活動（25）、資金提供のみ（1）両方（14）

主な活動内容と年間の活動回数

広葉樹の整備（67）、人工林の整備（17）、竹林の整備（7）、木工等（3）
環境学習等（5）

年間活動回数 企業等数

2回程度（29）、5回程度（8）、6回以上（3）



企業等参加の情報交換・交流の支援

森林づくりミーティング（8月22日）

京都市内の御所西京都平安ホテルにて「企業等参加の森林づくりミーティング」を開催し、協会会員で森林づくりに取り組む 11 企業・団体 14 名の方にご参加いただきました。平成 28 年度の府内での育樹祭開催を一つの機会として活動をさらに更に進めていくために、事例報告と意見交換を行いました。



ビジネスランチ（1月26日）

平成 27 年 1 月 26 日に開催された第 3 回「森林・林業・木材産業京都会議」にあわせ、企業交流ビジネスランチを開催。参画企業間の交流を深めました。

森林づくり相談会（2月中随時）

各企業の取組の支援を強化すべく、今年度新たに各企業において次年度の事業計画を検討される時期にあわせ、平成 27 年 2 月 12 日、13 日を中心に、事務局において森林づくり参画企業の担当者向け相談会を実施。森林づくりの計画についての相談や、「一人で担当していて普段森林や活動について相談できる相手がない」「他企業の取組の事例が知りたい」といった相談、また森林整備活動で出た材の有効活用についてのお尋ねなどに対応しました。

メーリングリストの開設

各企業・団体担当者を対象に、メーリングリストを開設。協会事業の案内のほか、各担当者間の積極的な情報交換を支援し、取組の進展を図りました。

企業の森林づくり活動の PR 中小企業向け CSR 関連セミナーでの PR

10 月 21 日、京都 CSR 推進協議会「CSR 創発塾」において「森林（もり）を元気に、会社を元気に～京都モデルフォレスト運動での CSR～」と題し講演。企業が取り組む森林づくり活動の意義について PR しました。



学生向け CSR 関連セミナー・イベントでの PR

学生等若年層対象のイベントにおいて企業等参加の森林づくりの取組を PR しました。

「エコ～るど京大冬の陣『働く』を考える』持続可能な社会への構築に向けた仕事・活動・生き方探究」

12 月 8 日、9 日／京都大学百周年時計台記念館／主催：エコ～るど京大 2015 実行委員会
就活学生のためのキャリアセミナー就活×CSR ～これからの時代の企業選び～

12 月 8 日、9 日／大阪住之江区／主催：おおさか ATC グリーンエコプラザ～



企業等からの寄付金による森林づくり事業の実施

企業等からの寄付を原資に、京都府森林利用保全重点区域等の森林整備を推進し、森林の公益的機能を確保するため森林づくり基金事業を設けています。26年度は、それぞれの企業等が参加している森林づくり活動地への寄付により府内7カ所で森林づくり事業を実施しました。

また、次の企業等から府内の森林づくりのために寄付をいただき、府内の森林整備等に活用しました。

寄付者	寄付金額 (円)
コカコーラウエスト自販機	14,949
Club J-WEST	4,765,200

<別表 寄付金による森林づくり基金事業の状況>

事業実施地域	交付額 (円)	事業実施地域	交付額 (円)
宇治田原町立川御林山	2,649,000	亀岡市旭町湯谷山	150,000
和束町大字湯船	880,000	亀岡市東別院町	1,899,258
南丹市八木町北広瀬	237,500	京都市右京区梅ヶ畑	140,050
南丹市八木町玉ノ井	559,388		

森林整備による二酸化炭素森林吸収量の認証

森林整備による二酸化炭素の吸収量について、その計算・認証を行う機関として京都府から指定を受け、次の認証を行いました。

平成 26 年度実績 (単位: CO₂-t)

・オムロン株式会社京阪奈イノベーションセンター	13.94
・三洋化成工業株式会社	32.66
・西山森林整備推進協議会	10.40
・長岡京市	55.33
・ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社	1.71
・KDD I 株式会社	0.11
・有限会社長岡美装社	0.25
・オムロン株式会社 (本社)	0.41
計	114.81



5. モデルフォレスト運動についての普及啓発、情報発信

府民への森林に親しむ機会の提供

公益社団法人国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド事業」などを活用し、幅広い年齢層の会員や府民の方々等に森林に親しんでいただき、京都モデルフォレスト運動への理解を深めていただくことを目的に、以下の行事を実施しました。

森林体験教室「森で遊ぼう、森で学ぼう～衣笠山～」(10月4日)

京都市北区の衣笠山にて開催。お子さんと保護者など 22 名が参加いただきました。京都森林インストラクター会の協力により、子ども向けの視点で森林や自然を体感する森林体験メニューを実施。参加者は秋の衣笠山を満喫し、森林の観察や散策を通じ森林に親しんでいただきました。



森林体験ツアー「鴨川の源流域・雲ヶ畑／志明院を訪ねる」(12月7日)

鴨川の源流域雲ヶ畑において志明院を訪問し、境内では鴨川の源水を見学。地元林業家からは林業の厳しい状況とそれに伴う人工林の荒廃や地域の担い手の流出、水源の森を守る自負などについてお話を伺いました。続いて京都森林インストラクター会の協力のもと雲ヶ畑の森を散策。参加者は冬ならではの森林の表情を楽しみました。



洛西散策の森の管理運営

京都府からの委託を受け洛西散策の森(京都市西京区)の管理を実施。府民に開かれた森林体験の場の提供を行うとともに、洛南ライオンズクラブの地域奉仕活動の支援なども行いました。

情報発信・PR

イベント等でのモデルフォレスト運動のPR

新緑祭 inSTIHL の森京都(5月3～5日)

STIHL の森京都(府民の森ひよし)において、森林散策、木工教室等を開催。ご家族連れをはじめ幅広い年齢層の皆さんに森に親しむ機会を提供しました。

野外コンサート「京都大作戦」(7月5日、6日)

宇治市の京都府立山城総合運動公園(太陽が丘)で行われた野外音楽フェスティバル「京都大作戦 2014」(FM京都主催)において、当協会会員の森林ボランティア団体「フォレスターうじ」、「森なかま」にご協力いただき、緑の募金活動とあわせモデルフォレスト運動のPRを行いました。





京都環境フェスティバル（12月13日、14日）

京都市伏見区の京都パルスプラザにおいて行われた京都環境フェスティバルに出展。モデルフォレスト運動のパネル展示や、森林の未利用材を利用した企業製品の展示のほか、間伐材を利用した木工ワークショップを実施しました。



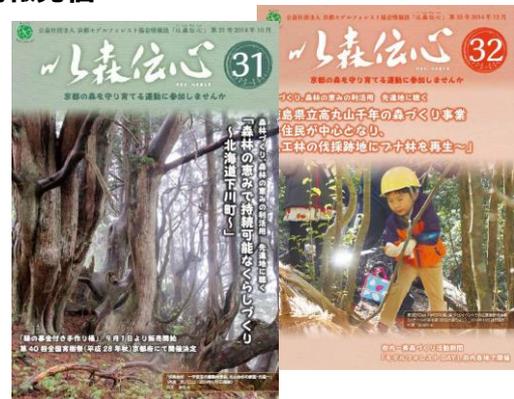
その他のイベント等での PR

- ・「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式、「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウム（平成 27 年 2 月 7 日／京都国際会館）
- ・京北の木で家をつくろうネットワーク箸作りワークショップ（平成 26 年 9 月／平成の京町家普及センター）

紙面、インターネット、テレビ・ラジオによる情報発信

情報誌「以森伝心」の充実

会員向けに広報紙「以森伝心」を発行し、協会の取組状況のほか、国内の森林・地域づくりや森林を活用した取組の先進事例の紹介や、森林に関するイベントなど、ボランティア「チーム以森伝心」の皆様の協力のもと、特集や取材記事を充実。また、表紙は会員等から森に関する写真を募集し掲載しました。



フェイスブックの開設



広く協会の活動主旨や事業紹介を行うため、フェイスブックを開設。協会ホームページとあわせ、情報発信を充実しました。

ニュースレターの発行（月 1 回）

会員への迅速な情報提供のため、協会事業案内や報告などの最新状況や、会員団体等の依頼を受け、森林関連イベントやボランティア募集の案内を発信しました。また、企業等参画の森林づくり活動の状況や、国際モデルフォレストネットワークの取組なども掲載しました。

テレビ・ラジオでの PR

- ・環境市民のエコまちライフ（放映 11 月 17 日／FM 京都三条ラジオカフェ）
京都の森林の現状とモデルフォレスト運動について紹介
- ・ケーブルテレビ KCN 京都「環境番組」放映平成 27 年 3 月中（毎日放送）
10 月 18 日の第 3 回 Club J-WEST の森 森づくり活動の様子を中心に、地球温暖化防止に向けた森づくりやモデルフォレスト運動について紹介



協会ホームページによる広報内容の充実

協会行事等のご案内や、取組や活動の報告のほか、当協会の活動のみでなく、会員企業・団体や林野庁の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用したイベント等の広報による、森林づくりに関わる企業・団体等の情報発信の支援を行いました。

英文ニュースの掲載

国際モデルフォレストネットワークの一員として、京都の取組を国際的に情報発信すべく、新規に募集した翻訳ボランティアの協力により、協会ホームページの英文ページにニュースを掲載しました。



国際モデルフォレストネットワーク制作動画への日本語字幕の提供



国際モデルフォレストネットワーク (IMFN) の取組を国内でも広く知っていただくため、IMFN 事務局と連携し、同事務局が Youtube を利用し全世界に配信しているモデルフォレストについての紹介動画やアジアのモデルフォレストの活動について、日本語字幕を制作。ニュースレターや協会ホームページにおいても紹介しました。

調査研究の実施・支援

他機関との連携のもと、新たに以下の調査研究を実施しました。

京都府木材流通調査の実施

京都府からの委託を受け、木材の積極的な活用の方策の検討の一環として、京都府等の機関が所有する木材流通に係る既存データの収集・集約のほか、京都府内外の事業者等へのアンケート調査等を実施し、京都府内及び京都府産木材の取扱実績のある京都府外の木材加工関連施設の実態や木材の流通、消費に関わる現況等を把握するとともに、京都府を取り巻く木材の流通、加工、消費に係る今後の変遷予測を行いました。

寺社の森林管理に関する調査研究への協力

京都仏教会の協力を得て、京都大学大学院農学研究科森林科学専攻森林・人間関係学講座内の研究に協力。同会加盟寺院に対し森林の所有に関する実態及び管理に対するアンケートにより、調査研究を支援しました。



6. 緑の募金の推進

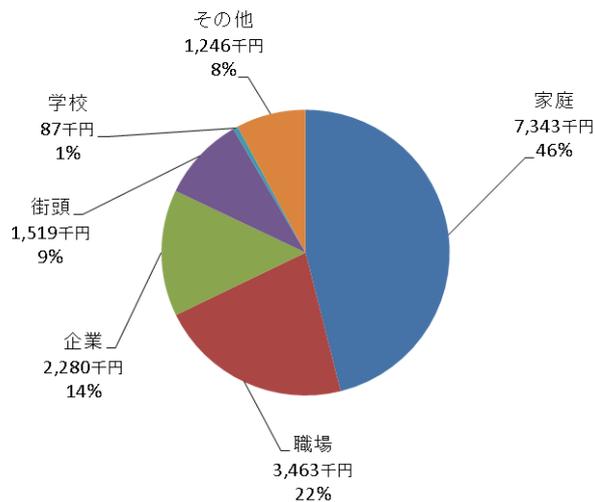
緑の募金活動の実施

平成 26 年度の緑の募金活動は、春募金は 3 月 1 日～5 月 31 日、秋募金は 9 月 1 日～10 月 31 日までを募金強化期間として、協会、京都府、市町村、関係団体並びに企業等との協力・連携の下、取り組みました。

街頭募金・職場募金が増加したものの、家庭募金・企業募金が減少したため、募金実績は 15,929,356 円で、前年比 97.8%となりました。

期	目標額	春期募金実績	秋期募金実績	合計	前年比
H26	20,000,000 円	11,738,971 円	4,200,385 円	15,939,356 円	97.80%
H25	20,000,000 円	12,449,604 円	3,844,940 円	16,294,544 円	98.70%
H24	20,000,000 円	13,135,538 円	3,379,163 円	16,514,701 円	95.20%
H23	21,000,000 円	9,634,668 円	7,704,566 円	17,339,234 円	98.00%
H22	21,000,000 円	15,021,715 円	2,673,013 円	17,694,728 円	89.70%
H21	20,000,000 円	15,713,844 円	4,016,411 円	19,730,255 円	108.10%
H20	20,000,000 円	14,963,309 円	3,280,168 円	18,243,477 円	107.20%
H19	20,000,000 円	14,350,716 円	2,671,045 円	17,021,761 円	111.40%

緑の募金の方法別内訳



寄付付き商品など企業のCSR活動の一環としての募金活動

企業 CSR 活動の一環として、商品やサービスの売り上げに応じた寄付など企業の協力により募金キャンペーンを展開していただきました。

- ・ 日本ハム西販売(株)／『森の薫り』関連商品
- ・ 京都府ホンダ会／加盟店に緑の募金を呼びかけ集約
- ・ (株)ブックレット／本等の買取点数により募金
- ・ (株)樽徳商店／「緑の募金付き手作り桶」販売開始（新規）
- ・ (株)京都放送／緑の募金付「鹿 de カレー～おうちごはん物語～」（新規）





飲料自動販売機による募金活動

飲料会社と自動販売機設置オーナーとで契約後、毎月、売上に応じて緑の募金を寄付いただいております。現在、府内 55 社の協力を得て設置されており、平成 26 年の自動販売機による募金額は 1,180,859 円となっています。

【協力飲料会社】

ダイドードリンコ(株)、(株)伊藤園、アサヒカルピスビバレッジウエスト(株)、関西キリンビバレッジサービス(株)、ジャパンビバレッジサービス(株)、サンフーズオペレーション(株)、(株)山久

ソフトバンク「かざして募金」を活用した募金活動



新たな募金の形態として、スマートフォンによる募金を導入。ソフトバンク「かざして募金」の寄付先団体として登録を受け、ソフトバンクのスマートフォン利用者には、アプリをインストールいただき、協会ロゴマークのほかあらかじめ登録された画像に「かざす」だけで寄付いただく仕組みを通じた取組を開始。

ホームページや協会の広報物による PR のほか、イベントでのパネル展示やチラシ配布により募金への協力を呼びかけました。

緑の募金を活用した各種事業

緑の募金は、学識経験者等で構成する「緑の募金運営協議会」で審議（2/13 に開催）の上、事業実施希望者を公募するなどして、森林整備、緑化推進、緑の少年団活動等の森林環境教育、緑化や森林づくりの普及啓発等に活用しました。

森林整備等

ボーイスカウトやガールスカウトが行う森林愛護活動に対し、資材等の購入に必要な経費及び森林整備活動や研修の経費について助成しました（森林愛護運動推進事業）。

また、森林ボランティア団体等による、京都府民参加型の森林整備・保全活動等を支援するための助成金を交付しました（豊かな森林づくり活動支援事業）。

【豊かな森林づくり活動支援事業 26 年度取組団体】

団 体 名	事 業 名
森林ボランティア フォレスターうじ	防鹿柵の取り換えと桜の植樹
豊郷公民館	京都「桑田村」再生プロジェクト
せいか里山の会	せいか里山の会自然環境保全活動
里山的暮らし ECO TASK TEAM	里山の小学校
特定非営利活動法人やましろ里山の会	里山林保全のための山道整備と国蝶オオムラサキの生育調査・自然観察会
虎屋モデルフォレスト推進協力会	自ら考え創造する豊かな里山づくり活動事業
特定非営利活動法人胡麻地域振興会	「丸山」再生事業



緑化推進

ア 地域緑化

府内の老人クラブに緑化樹の養成を委託し、高齢者の社会参加を図るとともに、地域の緑化を推進するため、養成された苗木や緑化センターから購入した桜苗木 208 本を公共施設等へ無償配布し、公園や道路沿線、公共施設等に植栽しました。

<緑化樹委託先>船枝紫雲クラブ（南丹市）

<主な配布先>園部小学校（南丹市）、杉区、印地、美濃田、山科公民館（亀岡市）ほか

イ 学校緑化

教育環境の整備と緑を愛し育てる心を育むため、府内の小中学校 16 校に対し、植樹木の購入等に要する経費を助成しました。

（助成校一覧）

向日市立第 2 向陽小学校、宇治市立宇治中学校、宇治市立東宇治中学校、
城陽市立深谷小学校、八幡市立男山東中学校、木津川市立城山台小学校、
亀岡市立千代川小学校、南丹市立園部小学校、京丹波町立和知小学校
綾部市立中筋小学校、綾部市立何北中学校、福知山市立修斉小学校、宮津市立府中小学校
京丹後市立吉原小学校、京丹後市立長岡小学校、京丹後市立高龍小学校

緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクール

京都府と共催で、府内小中高校の生徒等を対象に緑化及び愛鳥ポスターコンクールを実施しました。上位入賞者の作品を 9 月 20 日から 25 日まで、愛鳥週間ポスター上位入賞者の作品とともに京都府立植物園（京都市左京区）で展示を行うとともに、9 月 20 日に表彰式を行いました。

また、全国応募のポスター原画コンクールに応募しました。

（応募総数）

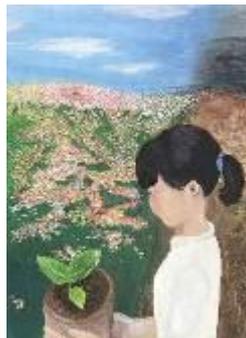
緑化運動ポスター：参加校 183 校参加者数 7,342 人応募点数 1,341 点

愛鳥週間ポスター：参加校 207 校参加者数 7,219 人応募点数 1,489 点

平成 26 年緑化運動ポスターコンクール （府）



最優秀賞
（全国育樹祭用ポスター）
竹中 柊翔
京田辺市立桃園小学校 5 年



最優秀賞
森田 千尋
京都市立蜂ヶ岡中学校 3 年

国土緑化・育樹運動ポスター原画コンクール （全国）



小学校の部（入選）
片山 咲葵
京都市立嵐山東小学校 4 年



高等学校の部（入選）
藤山 遥香
私立京都学園高等学校 3 年



緑の少年団等育成・活動支援

森林や緑の大切さを学習するための緑の少年団の活動支援を行いました。

緑の少年団連絡会役員会の開催（2月4日）

緑の少年団の指導者によって構成される緑の少年団連絡会の役員会を開催。全国育樹祭を契機に活動を発展させていくための積極的な意見交換が行われました。

青少年団体向けの活動 PR

京都府緑の少年団連絡会の加盟する京都青少年ゆめネットワーク“ゆめっと京都”（事務局：京都府青少年育成協会内）発行の同会会報において、府内青少年関連団体向けに緑の少年団及び第 40 回全国育樹祭の PR を行いました。

地域での緑の募金事業の取組支援

交付金の交付

地域の緑化推進団体（緑の募金支援団体）が、それぞれの地域で森林整備、植樹祭、緑の少年団育成等の森林や緑を守り育てる取組みを実施するための経費として、各団体の緑の募金実績の 75%を交付するとともに、緑の募金法施行規則第 6 条に基づき、公益社団法人国土緑化推進機構に中央交付金を交付しました。



平成 26 年度緑の募金交付金一覧

（単位：千円）

交付先	交付額	主 な 取 組
京都・乙訓緑化推進委員会	1,298,000	森林ボランティア団体活動支援、地域緑化、学校緑化、緑化推進啓発活動、募金活動推進等
山城モデルフォレスト推進協議会	1,491,000	森林ボランティア団体活動支援、愛鳥モデル校活動助成、BS・GS等への活動助成、森林整備・緑化推進啓発活動ほか
(公財)亀岡市都市緑花協会	1,099,000	苗木・プランター配布、花づくりコンクール、緑の少年団活動資材助成等
南丹・京丹波林業振興会	431,000	緑の少年団・BS・GSの育成、緑化樹の苗木配布
福知山緑化推進委員会	1,183,000	森林ボランティア団体活動支援、地域緑化事業、福知山地方植樹祭、緑の少年団活動等
舞鶴市森づくり推進委員会	1,619,000	緑化活動団体支援事業（公募）、地域緑化、学校緑化、植樹祭開催、青少年の団体育成活動助成等、緑化啓発活動等
綾部緑化推進委員会	498,000	苗木配布、緑の少年団活動助成、緑化啓発活動等
与謝地方林業振興会	427,000	地域の植樹活動支援、学校緑化推進等助成、緑の少年団活動等
丹後地方林業振興会	184,000	記念植樹、都市と農村を結ぶ緑化事業等
小計 9 団体	8,230,000	
中央交付金	1,296,000	(公社)国土緑化推進機構 5%+500 千円

緑の募金支援団体担当者会議の開催（1月13日）

各支援団体の担当者会議を開催。地域で好評だった事例の紹介や、募金についての情報を共有。今後の取組の充実に向けて意見交換を行いました。